

MSYM-10018-10	除雪機ペイントスプレー(スカイブルー)	株式会社アスカ
SDS(安全データシート)	作成日 2014年6月15日	改定日 2024年12月4日 第10版

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 除雪機ペイントスプレー(スカイブルー)
 製品コード 90793-10018
 供給者の会社名称 株式会社アスカ
 住所 兵庫県明石市朝霧南町三丁目8番8号
 担当部門 品質保証本部
 電話番号 078-974-6122(AM9:00~PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
 FAX番号 078-974-5303
 緊急連絡の電話番号 078-974-6122(AM9:00~PM5:00、土日祝日当社指定休日を除く)
 推奨用途及び使用上の制限 除雪機の補修および雪の付着の抑制（業務用）
 整理番号 MSYM-10018-10

2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	エアゾール	区分1
物理化学的危険性	急性毒性(経皮)	区分3
健康に対する有害性	急性毒性(吸入)	区分3
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	皮膚感作性	区分1
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器、神経、血液、肝臓、腎臓)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分3
	水生環境有害性 短期(急性)	区分1(呼吸器、神経、肝臓、腎臓)
環境に対する有害性	水性環境有害性、長期(慢性)	区分2
	その他の項目は、「区分に該当しない」もしくは「分類できない」に該当	区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

- ・炎
- ・どくろ
- ・健康有害性



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- H222 極めて可燃性の高いエアゾール
 H229 高圧容器：熱すると破裂のおそれ
 H311 皮膚に接触すると有毒
 H331 吸入すると有害
 H315 皮膚刺激
 H319 強い眼刺激
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H351 発がんのおそれの疑い
 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 H370 臓器(呼吸器、神経、血液、肝臓、腎臓)の障害
 H335 呼吸器への刺激のおそれ
 H336 眠気又はめまいのおそれ
 H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器、神経、肝臓、腎臓)の障害
 H401 水生生物に毒性
 H412 長期的影響によって水生生物に有害

MSYM-10018-10	除雪機ペイントスプレー(スカイブルー)	株式会社アスカ
SDS(安全データシート)	作成日 2014年6月15日	改定日 2024年12月4日 第10版

注意書き**【安全対策】**

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P210 熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P211 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
 P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。
 P264 取り扱い後は、汚染箇所をよく洗うこと。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- P301+P340 飲み込んだ場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
 P308+P313 ばく露又はばく霧の懸念がある場合：医師の診察／手当を受けること。
 P331 無理に吐かせないこと。
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当を受けること。
 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当を受けること。

【保管】

- P403 換気の良い場所で保管すること。
 P405 施錠して保管すること。
 P410+P412 日光から遮断し、40°C以上の温度にばく露しないこと。

【廃棄】

- P501 内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報**化学物質・混合物の区别****混合物**

成分名／化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化学式	化審法番号	安衛法 通知対象物質	PRTR法	毒劇物
トルエン	7.2	108-88-3	C6H5CH3	(3)-2	407	第1種300	劇物
キシレン	6.3	1330-20-7	(CH3)2C6H4	(3)-3	136	第1種80	劇物
エチルベンゼン	7	100-41-4	C6H5CH2CH3	(3)-28	70	第1種53	非該当
ブチルセロソルブ	1~10	111-76-2	CH3(CH2)2O(CH2)2OH	(2)-407	79	第1種594	劇物
重質芳香族 ソルベントナフサ	1~10	64742-94-5	詳細不明	(9)-2578	330	非該当	非該当
酢酸エチル	<5	141-78-6	CH3COOC2H5	(2)-726	177	非該当	劇物
イソブチルアルコール	<5	78-83-1	C4H10O	(2)-3049	477	非該当	非該当
イソプロピルアルコール	<5	67-63-0	(CH3)2CHOH	(2)-207	494	非該当	非該当
メタノール	<5	67-56-1	CH3OH	(2)-201	560	非該当	劇物
メチルイソブチルケトン	<5	108-10-1	CH3COCH2CH(CH3)2	(2)-542	569	第1種737	非該当
1-ブタノール	<1	71-36-3	CH3CH2CH2CH2OH	(2)-3049	477	非該当	非該当
メトキシブチラーセテート	<5	4435-53-4	CH3COO(CH2)2CH(OCH3)CH3	(2)-739	非該当	非該当	非該当
ナフタレン	<1	91-20-3	C10H8	(4)-311	407	第1種302	非該当
二酸化チタン	<5	13463-67-7	TiO2	(1)-558 (5)-5225	191	非該当	非該当
ニトロセルローズ	<5	9004-70-0	(C6H5O5)x (NO2)10x-xv	(8)-176	424	非該当	非該当
塩素化銅 フタロシアニングリーン7	<1	1328-53-6	C32Cl16CuN8	(5)-3315	379	非該当	非該当
銅フタロシアニンブルー	<1	12239-87-1	C32H15ClCuN8	(5)-3300	379	非該当	非該当
シリコーン樹脂	<1	非公開	非公開	既存	非該当	非該当	非該当
DME(噴射剤)	40~50	7664-41-9	C2H6O	(2)-360	非該当	非該当	非該当

化審法番号: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号

安衛法: 労安法施行令別表第3第1号及び別表第9の指定物質並びに労安規則別表第2の指定物質、裾切値以上含む混合物

PRTR法: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)対象化学物質の管理番
毒劇物: 毒物及び劇物取締法の別表一(毒物)、別表二(劇物)、別表三(特定毒物)毒物及び劇物指定令

MSYM-10018-10	除雪機ペイントスプレー(スカイブルー)	株式会社アスカ
SDS(安全データシート)	作成日 2014年6月15日	改定日 2024年12月4日

4 応急措置

吸入した場合

蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移動させ、安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

大量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して充分に洗い落とすこと。

外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、直ちに医師の診断を受けること。

目に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。

コンタクトレンズを着用し、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。

できるだけ速く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

吐かせずに、医師の診断を受ける。

口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

5 火災時の措置

消火剤

炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂。

水を消火に用いてはならない。

特有の消火方法

可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際には保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

屋内で漏洩した場合は充分に換気を行うこと。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

除去方法

漏出物を密閉できる空容器に可能な限り回収する。

回収後の少量の残留分は、土砂(おがくず・土・砂・ウェス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウェス、雑巾等でよく拭き取る。

少量の場合、おがくず、ウエス、砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収する。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

温度40°C以上の所では取扱わないこと。

火気のある所では取扱わないこと。

温度40°C以上に暖めないこと。

長時間噴射させないこと。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

局所排気・全体排気

局所排気内、または全体換気のある場所で取扱う。

MSYM-10018-10	除雪機ペイントスプレー(スカイブルー)	株式会社アスカ
SDS(安全データシート)	作成日 2014年6月15日	改定日 2024年12月4日 第10版

注意事項

安全取り扱い注意事項

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
作業場内での飲食、喫煙は絶対にしてはならない。
使用後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策

適切な保管条件

温度40°C以上になる所に保管しないこと。
水分や湿気の多い所に保管すると容器を腐食させて爆発の恐れがあるので注意すること。
通気の良い場所に保管すること。
子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

8 ばく露防止及び保護措置

設備対策

局所排気装置、全体換気の設備を使用する。

許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 (日本産業衛生学会)	許容濃度 (ACGIH)
トルエン	50ppm	50ppm	50ppm
キシレン	50ppm	50ppm	100ppm
エチルベンゼン	未設定	50ppm	100ppm
ブチルセロソルブ	25ppm	未設定	20ppm
酢酸エチル	200ppm	200ppm	400ppm
イソブチルアルコール	50ppm	50ppm	50ppm
イソプロピルアルコール	200ppm	400ppm	200ppm
メタノール	200ppm	200ppm	200ppm
メチルイソブチルケトン	50ppm	50ppm	50ppm
1-ブタノール	25ppm	50ppm	20ppm
メキシブチラーセテート	未設定	未設定	未設定
ナフタレン	未設定	未設定	10ppm
ニ酸化チタン	未設定	4mg/m3	10mg/m3
ニトロセルローズ	未設定	未設定	未設定
DME(噴射剤)	未設定	未設定	未設定

保護具

呼吸器用の保護具

必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を使用する。

目および皮膚の保護具

必要に応じて、保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等の適切な保護具を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観・形状	【原液】		【噴射剤】(DME)
色	液体	液体(加圧時)	
臭い	青色指定色	無色透明	
沸点範囲	111°C (主要溶剤の沸点)	独特な甘味臭	
引火点	4°C (主要溶剤の引火点)	-25°C	
発火点	238°C (主要溶剤の発火点)	-42°C	
爆発限界	データなし	350°C	
密度及び/又は相対密度	0.9~1.0	3.4~27vol%	
溶解性	水に不溶	0.6~0.7	
		水に可溶	

MSYM-10018-10	除雪機ペイントスプレー(スカイブルー)	株式会社アスカ
SDS(安全データシート)	作成日 2014年6月15日	改定日 2024年12月4日 第10版

10 安定性及び反応性

安定性

通常の条件では安定。

反応性

強酸化剤と接触すると激しく反応する。

11 有害性情報

成分名	LD50M	LD50S	皮	眼	呼	変	発	生	単			反		吸	環境	
									短	長						
トルエン	4800	-	2	2B	-	-	-	1A	1	-	3	1	-	1	2	-
キシレン	4300	-	2	2A	-	-	-	1B	1	-	3	1	-	2	2	2
エチルベンゼン	3500	-	3	2B	-	-	2	1B	-	2	3	-	-	1	1	-
ブチルセロソルブ	1746	135	2	2A	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-	2	-
重質芳香族ソルベントナフサ	-	-	-	2B	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-
酢酸エチル	5600	>18000	-	2B	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-
イソブチルアルコール	2596	2523	2	2A	-	-	-	-	-	-	3	-	-	2	-	-
イソプロピルアルコール	3437	4059	-	-	-	-	-	2	1	-	3	-	2	2	-	-
メタノール	1400	-	-	2A	-	-	-	2	1	-	3	1	-	-	-	-
メチルイソブチルケトン	2919	3000	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	2	-	-
1-ブタノール	4400	5300	2	2A	-	-	-	-	-	-	3	1	-	2	2	-
メキシブチルアセテート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ナフタレン	1780	-	3	2B	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	1	1
二酸化チタン	-	-	-	2B	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ニトロセルローズ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
塩素化銅フタロシアニングリーン7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
銅フタロシアニンブルー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シリコーン樹脂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DME(噴射剤)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-

略記号:

LD50M: 経口 (主としてラット) mg/kg LD50S: 経皮 (主としてラット) mg/kg

皮: 皮膚腐食性・刺激性 眼: 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼: 呼吸器感作性または皮膚感作性

変: 生殖細胞変異原性 発: 発がん性 生: 生殖毒性

単: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 反: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

吸: 誤えん有害性

短: 水生環境有害性、短期(急性) 長: 水生環境有害性、長期(慢性)

12 環境影響情報

11.有害性情報にあわせて記載している。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

汚染容器・包装

内容物や容器を廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託すること。

個人で使用の際は、中身を使い切ってから火気のない屋外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから地域の法令に従って処理して下さい。

MSYM-10018-10	除雪機ペイントスプレー(スカイブルー)	株式会社アスカ
SDS(安全データシート)	作成日 2014年6月15日	改定日 2024年12月4日

14 輸送上の注意

国際規制

可燃性分類	有害性分類
国連分類 クラス2.1(引火性高圧ガス)	クラス6.1(毒物)
国連番号 1950(エアゾール)	2810(有毒液体(有機物))
指針番号 126	153

国内規制

陸上輸送

消防法、危険物の規制に関する規格などの輸送について定めるところに従う。

容器表示

第四類	第一石油類	危険等級 II	火気厳禁
容量	140 mL		

積載方法

運搬時の積み重ね高さは3m以下。

混載禁止

第一類及び第六類の危険物。

海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送

航空法に定めるところに従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

高圧ガス保安法

消防法

法第2条第7項危険物別表第1

適用除外

第四類第一石油類非水溶性

毒物及び劇物取締法

法第2条別表第1、別表第2、別表第3

該当せず

労働安全衛生法

(表示・通知対象物質)

3.組成、成分情報に記載

施行令別表第1危険物

引火性の物

施行令別表第3特定化学物質

エチルベンゼン、メチルイソブチルケトン

施行令別表第6の3有機溶剤

第二種有機溶剤

化学物質排出把握管理促進法

施行令別表第1第1種指定化学物質

3.組成、成分情報に記載

施行令別表第2第2種指定化学物質

該当せず

16 その他の情報

引用文献

JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

産業中毒便覧 (医薬品出版株式会社)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 (海文堂)

GHS分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

原材料SDS

※この安全データシートは日本国内向けに作成していますので、無断での翻訳・海外向けへの交付はご遠慮ください。

製品を海外に輸出する場合には、仕向け国の法令・規制について事前にご確認ください。

※この情報は、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考として、取扱う事業者に提供されるものです。

※記載内容は現時点で入手できる資料および情報に基づき作成しております。新しい知見および試験情報等により改正されることがあります。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

従いまして、この安全データシートそのものは、安全の保証書ではありません。